

## ともに学ぶ ともに育つ

猛暑がようやく落ち着き始め、夏が終わりつつあることを感じる頃となりました。新型コロナについては、この夏の感染の勢いが峠を越えたように見受けられますが、その収束はまだ見通せない状況です。学校では、1学期と同様に感染が拡大しないよう対策を継続しながら、2学期の教育活動を進めていきます。

さて、今年度の始めに、学校経営の目標を具現化するキーワードとして「ともに学ぶ」「ともに育つ」ことを挙げました。そして、このことを基に、子どもたちには、互いによさを学び合い成長するために、「仲間を大切に作る学級」をみんなで創ることを働き掛けています。

また、職員には、「経験豊かな教師のスキルや児童観、指導観を、経験の浅い教師が学ぶ」「若い教師の新鮮な感覚や情報活用に関する知識、スキル等を、経験豊かな教師が学ぶ」ことによって互いに成長することが大切だと伝えていきます。学校が子どもたちの成長の場であることはもちろん、職員にとっても成長の場であることが、子どもたちのためになると考えています。

1学期末に、保護者の皆様には、第Ⅰ期の学校評価アンケートにご協力をいただきました。その中で、子どもたちの課題となる姿として、「登下校時や近所で出会った時に、挨拶しない子が多い」という趣旨のコメントをいくつかいただきました。本日の始業式の中で挨拶に関わる話をしましたが、今後も折に触れて挨拶の大切さについて伝えていくとともに、その実践について指導していきます。

一方で、挨拶は第一義に家庭、そして、地域での教育が不可欠です。挨拶の定着についても、家庭、地域、学校が「ともに学ぶ」「ともに育つ」ことを共有し、協力して取り組んでいくことが必要だと考えます。大人である私たちが模範を示しながら、子どもたちの成長を粘り強く促していきたいと思えます。

夏休みには、5年生が野外教育活動を行いました。2学期には、運動会、校外学習、修学旅行等、大きな行事が目白押しです。一つ一つの行事を、子どもたちが仲間と協力しながら創り上げ、健やかに成長していけるよう努めてまいります。保護者の皆様や地域の皆様には、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年9月1日  
校長 渡辺 孝雄